

西城地域内外から参加した30人は、県立総合技術研究所食品工業技術センター元総括研究員の平田健さんから、食品衛生法やJAS法などの基礎知識、滅菌や品質保持などのポイントについて学習しました。



講演の様子



「ありがとう」の気持ち込め歌う園児たち



閉所を惜しむ参加者

保健医療課

受けよう検診、忘れないで自己検診！
ピンクリボン講演会



終始笑顔で講演する中川さん

「思った」などの声が聞かれ、個別に相談する姿もありました。庄原・西城・東城・口和地区に設立しているピンクリボン実行委員会の皆さんは、昨年10月に「広島県がん検診推進員」として認定され、各地域でがん予防啓発活動に取り組んでいます。

乳がんの予防と検診を呼びかける「ピンクリボン講演会」を3月12日、庄原市保健センターで開催しました。乳がん患者友の会「きらら」代表の中川圭さんが、「明日はきっといい日と私とあなたの大切な人の命を守るために」と題して講演。中川さんは自ら乳がんを患った経験を踏まえながら、「早期発見・早期治療の大切さ」「自己検診の重要性」を強調。来場した62人は、終始笑顔で前向きに語る中川さんの話に引き込まれていました。



真剣に耳を傾ける参加者

西城支所

地元の食資源をまちの元気づくりに
農産物加工研修会を開催

西城支所と西城自治振興区は3月9日、『6次産業化セミナー・売れる加工品と加工所の元気づくりのイロハ』と題して、農産物加工研修会を行いました。

商品化に取り組んでいる大佐加工所の黒田令子さんは「ネギ味噌を、西城ならではのギフトとして本格的に売り出すには、学ぶことがたくさんある。具体的な話が聞けて参考になった」と話していました。

農業振興課

楽しく食文化を継承する
漬物伝承講座

「食農ネットワーク庄原」が主催する第2回「漬物伝承講座」が2月18日、食彩館しよばらゆめさくらで開催され、市内各地域から27人が参加しました。

どの感想が聞かれ、にぎやかで楽しい調理実習講座となりました。今後も「食農ネットワーク庄原」では、庄原地域に伝わる食農文化の継承活動を、参加者と一緒に楽しみながら積極的に行っていきます。

今回は、漬物を応用した創作料理や庄原産農産物を使った郷土料理の調理実習を中心に、会員である料理家の大谷朱美さん（暮らしのアトリエ・東本町）から「キムチを使ったアイデア料理」や、「一木加工グループ代表の吉光典子さん（二木町）から「そばがきづくり」を学びました。



大谷さんがアイデア料理を実演

高野支所

58年の長い歴史に幕
庄原市立下高保育所が閉所

本格的な春の訪れを感じる3月16日、下高保育所の閉所式が行われました。

式典には、関係者と在園児38人、保護者30人のほか、歴代の保育所長7人と保育士4人が来賓として招かれました。

下高保育所は昭和30年に地元運営の幼稚園として開設され、昭和36年に下高野山へき地保育所、昭和52年には国の認可を得て現在の下高保育所となり、地域の児童保育の拠点として58年間運営されてきました。しかし、過疎化・少子化による児童数の減少が著しいことから、町内の私立新市保育所と統合することが決まり、長い歴史に幕を下ろすこととなりました。

参加者は、式典の中で上映された「58年間の歴史を振り返るメモリアルDVD」を鑑賞し、これまでの楽しい思い出に浸りながら、下高保育所との別れを惜しまれました。4月からは、「高野保育所」として新たにスタートします。